

授業科目名： 地誌	教員の免許状取得のため の必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：渡部 斎 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (高等学校 地理歴史)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・地誌		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界における諸地域の地誌的学修を通して、より一層世界の地理的な認識を深めることができる。</li> <li>・地誌を学修し、諸要素から地域的特色を考察し、地域性を論じることができる。</li> </ul>			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア、東南アジア、南アジアなどを中心に、世界の地域的特色や歴史的背景に留意して、地誌学的な見方や考え方を学修する。</li> <li>・現代世界の諸問題と日常生活との関連にも重視して学修する。</li> <li>・スクーリングを活用して、現代世界の諸地域が抱える地誌的な諸課題や身近な地域の関連性を探求し、事象を考察する。</li> </ul>			

#### 授業計画

第1回：世界の自然環境・人文環境Ⅰ（自然環境）

第2回：世界の自然環境・人文環境Ⅱ（人文環境）

第3回：東アジアⅠ（地形と気候）

第4回：東アジアⅡ（日本）

第5回：東アジアⅢ（中国・大韓民国）

第6回：東南アジアⅠ（地形と気候）

第7回：東南アジアⅡ（ASEAN 諸国）

第8回：南・西アジアⅠ（地形と気候）

第9回：南・西アジアⅡ（インド他・西アジア諸国）

第10回：ヨーロッパ・ロシアⅠ・Ⅱ（地形と気候、民族・宗教・言語他）

第11回：ヨーロッパ・ロシアⅢ（EU）

第12回：テキストに関する質疑応答①、地誌学とは、地誌学あゆみ（スクーリング）

第13回：テキストに関する質疑応答②、地域の概念他（スクーリング）

第14回：テキストに関する質疑応答③、身近な地域の地誌（スクーリング）

第15回：テキストに関する質疑応答④、環境教育・防災教育（スクーリング）

#### 定期試験

\*スクーリングでは、第12回～第15回を実施する。

#### 教科書

・辰巳 勝他『図説 世界の地誌 改訂版』古今書院 2016年

#### 参考文献

(1) 地理統計集・資料集

(2) 地理用語集・『高等地図帳』二ノ宮書店、帝国書院など（必携）

(3) 武井正明他『新版 地理の完成』山川出版社 2015年

(4) 『高等学校学修指導要領解説』地理歴史編、『中学校学修指導要領解説』社会編

#### 学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。